



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

• 第21号 2009年 5月発行 •

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237
FAX 088-611-7035
E-mail : npo@dreamer-service.org

発行責任者 山口 浩志

新社屋に
どりーまあ職員集う



明日への希望



理事長 山口 浩志

この度、徳島市末広の地に、
どりーまあサービスの社屋を完
成させることができました。同

2009年スローガン

三つの誓い

一、公平な接遇に
努めます

一、専門的知識と
技術を深めます

一、チームの一員と
しての誇りを
もちます

ハウスを新
たに始めさ
せていただ
くこととな
りました。

この事は、
多くの関係
者の方々の
温かいご指
導やご協力があつてこそ実現で
きたことと、心より感謝申し上
げます。

まり、制度の枠内での通所介護
のみにとらわれず、がん患者さ
ん同士や障害をもつ子供さん
ご家族同士など、同じ悩みを抱
える人同士が出会ってそれぞれ
に相談し合い励ましあつたりで
きる場所としても育てていきた
いと考えております。

そういう新たな新しい「絆」が少
しでも生み出していくことを
目標として活動を続けてまいり
たいと思います。今後とも皆様
方のご理解とご協力の程、よろ
しくお願い申し上げます。

NPO活動に始まり、訪問介
護や訪問看護、ケアマネージャー
業務と、主に訪問系の仕事を続
けてまいりましたが、ここにきて、
新たな取り組みとして、高
齢者や障害をおもちの方などが
制度の垣根を越えて集まる居場
所づくりを目指しています。つ



デイサービス命名公募
最優秀賞 山星直子氏に表彰状を授与

「徳島県がん対策推進計画」の動向

徳島県健康増進課 課長 石本 寛子

徳島県保健福祉部医療健康総局 健康増進課の石本です。この度は、健康増進課が担当しております、徳島県のがん対策についてご紹介します。

国によると、生涯のうちで、男性の2人に1人、女性の3人に1人は、がんに罹る可能性があると言われており、本県においても毎年約24000人の方ががんでなくなりっています。このように、がんは、高齢化が進む中、将来にわたつて大きな健康問題であることがなっています。このように、がん対策基本法」が施行されました。また、「がん対策を総合的、計画的に行進るために、同年6月には「がん対策推進基本計画」が策定され、本県でも20年3月に「徳島県がん対策推進計画」を策定したところです。

この計画では、全体の目標を、「がんにより死亡する人の減少」、「すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上」とし、さらにこの全体目標を達成するための具体的な27個の個別目標を掲げています。医療では「拠点病院の整備」や「緩和ケアの推進」、「在宅医療の

充実」などを目標としており、特に「緩和ケア」では、がんと診断される初期から「緩和ケア」が提供されるよう、「すべてのがんに携わる医師が緩和ケアの基本的な知識を習得する」という目標を実現するため、昨年度は県医師会にご協力をいただき2日間の研修会を3回開催し、99人の医師に受講していただきました。今年度は、拠点病院等も加わり4回以上の研修会が開催される予定です。



また、「がんの早期発見」のために、「がん検診を受診する人の割合を50%以上にする」を目標にしていますが、現状では推計ですが20%程度の受診率しかなく、いかに県民の皆様にがんの予防を自分のことと捉え、検診を受けていただくかが大きな課題となっています。

このように、県民の皆様が積極的にがんを予防し、また、がんの早期診断から専門的治療や在宅医療まで切れ目のない医療が受けられるようになるためには、関係機関のご協力が欠かせません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この計画では、全員の目標を、「がんにより死亡する人の減少」、「すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上」とし、さらにこの全体目標を達成するための具体的な27個の個別目標を掲げています。医療では「拠点病院の整備」や「緩和ケアの推進」、「在宅医療の

わが国は世界に例を見ない速さで、高齢化が進んでいます。徳島市でも、いわゆる団塊の世代が65歳に到達する平成27年に65歳以上の高齢者が26.5%を占め、4人に1人が65歳以上という超高齢社会がやってきます。また、75歳以上の後期高齢者も大幅に増加します。さらに認知症高齢者も今後15年で現在の1・5倍に増加すると予想されています。家族の扶養意識が変化するなかで、一人暮らし世帯や夫婦のみの世帯の増加などを挙げての支援の体制づくりが求められます。

今回の計画は、平成21

年度から23年度までの3年間にわたり、平成18年度から始まる第3期介護保険事業計画を受けたもので、第4期に当たります。徳島市の計画では「ぬくもりの社会づくり」を基本理念に大きく4つの政策目標が掲げられています。そこでは①介護サービスの充実と質の向上、②健康であり続けるための予防

イジの社会参加の4つの柱が掲げられています。①では住み慣れた地域社会で自立した生活が営めるよう支援すること、②では高齢者が生きがいにあふれた「活動的な85歳」を目指すこと、③地域の各種機関による相談、見守りのネットワークづくりの推進や就労環境の整備等をはかることを基本として各種の施策が講じられようとしています。④高齢者の社会参加の推進や就労環境の整備等をはかるとともに基本として各種の施策が講じられようとしています。そこでは、地域包括支援センターの設置や日常生活圏の設定による地域密着型サービスの提供など、第3期介護保険事業計画で進められてきた予防重視型システムや地域ケア体制の整備を目指すという計画の一層の推進が図られると共に、今後の新しい課題に対する取り組みなどが進められます。第4期の計画がいかに実を結び、平成26年度までの第5期の計画につながっていくか、超高齢社会を迎える私たちの社会が、本当に高齢者の生活を支える体制づくりができるかどうかが問われています。

現職時代は高等学校で国語の教師として教鞭をとらっていた高橋さんです。どりーまあとは8年のおつきあいをさせていただき、おまでは、訪問するといつもご自身の体験談や子育てなどの話を聞いていただき、人としての教えをお導きいたしております。

そんな高橋さんの趣味は「洋裁」だそうで、「洋裁」というと「洋裁」だそうです。



大変というイメージがあるが、希望のもてる職業にするためにも今頑張っている人たちは利用する側からも応援していますよ、とのお言葉でした。

「介護」を希望のもてる職業にしてほしいですね

現在ひのみね療護園で生

うです。ところが名賀石さんとの出会いで、不安などどこ吹く風といった感じ

員の名賀石さんが、しばらく子育てでなかなか活動ができなく、この度7年ぶりの活動再開です。今は同療護園で生活される人たちからひっぱりだこ

昨日介護職員の人手不足は社会的問題となっていますが、そうした中でも力をふりしぼって現場で活躍する人たちや介護を受けられて懸命に過ごされている人たちの姿は常に原点に立ち戻らせてくれます。

今回もそれぞれの立場での3名をご紹介いたします。

ヘルパーステーション たすけあい

利用者

高橋 邦和さん

元気高齢者づくり ～南井上地区～

体操指導員

坂本 正子さん

りーまあで体操指導員をしている友人から勧められて見習い期間中の坂本さんです。以前から自分の中の坂本さんです。以後のこれから



の健康管理には関心が深かったそうですが、そういった時に友人から声をかけてくれたそうです。先輩指導員の人が90分の時間を見てきぱきとこなされる姿をみていつも「すごいなあ！」と関心しているそ

うですが、ご自身も早く先輩においっけるよう精一杯頑張ります、とのことです。

その誠実な姿勢があれば大丈夫!!

利用会員

西野真由美さん

ふれあい活動

りーまあのシリーズを聞いて、不安はあったそうですが、サービスを受けてみようと思つたそ



員の名賀石さんが、しばらく子育てでなかなか活動ができなく、この度7年ぶりの活動再開です。今は同療護園で生活される人たちからひっぱりだこ



どりーまあ
訪問看護

たじたじだそうです。そんな小松さんも、週1回の訪問看護サービスでは看護師さんにいろんな悩みを打ち明けられたり、相談にのつていただいたりして、ご本人からも「助かります」、と目を細められます。担当でもあり、どりーまあ訪問看護ステーション

小松 綾子さん

若い人からの笑顔に元気を
いただいちゃう(^ 。 ^)

所長もある中野ですが、毎日ご利用者さんから教えていただきくことばかりで、その時その時の瞬間を大事にしていきたく心がけているようです。その心意気でこれからもがんばりましょう。

先天性疾患のある
“みずきちゃん”で
すが、生後9ヶ月で
公的医療機関から退
院し、念願のご自宅
での生活が叶えられ
ました。お母さんの代さ
んからは、「みずきは病院
に入院している時は38度か
ら39度の高熱がよく出てい

たのに、家に帰つてきてからは調子がずっとよくなつたんですよ。」と話されます。そんなお母さんの今の願いは、「天気がいい日を見計らつて今は10分くらいのお散歩が精一杯ですが、みずきと一緒に近くのスーパーにお買い物に出かけたいです。」と言われます。

息子ばかり4人の子育てをしてきた小松さんも、今年で95歳となりました。社会でそれぞれのお立場でご活躍されている息子さんたちの前では今でも

どりーまあ訪問看護では、認知症の方を含む高齢者ケアの他に、難病患者さんや小児疾患の子供たち、また在宅リハビリなどに力を入れて取り組んでいます。

看護師の現場での様子をご紹
介いたします。

感動

森浦さんの
かかつていろ

感動

でも最も厳しい病気と言われています。しかし、病気に負けず、ご自宅で懸命に命と向き合つて生きていられます。ご本人の今のお気持ちが、世間がせまくなは、「

森浦 孝允さん

けられて楽し
ます。」とのこと
ですが、希望は
「孫の成長」と
「株」だそうで
す。今後に
身の課題でも
たれますネ！

A black and white photograph capturing a moment of medical interaction. On the left, a female doctor with dark hair, wearing a white medical coat and a stethoscope, is smiling warmly at a young child. She is positioned next to a woman on the right who is holding the child. The woman is wearing a light-colored top with intricate lace detailing along the neckline. The child, visible from the side, is wearing a white hospital mask. In the background, a computer monitor sits on a desk, displaying a grayscale image, possibly a medical scan or X-ray. The overall atmosphere is one of care and reassurance.

ですが、これまでにも小児疾患の看護に携わってきたことがあります。関本からは、在宅で家族の温かい支援を受けながら過ごす子供たちは幸せだと感じるとともに、自分たちも家庭に合った手厚い看護ができることが今はやりがいに結びついています、との力強い言葉でした。その気持ちを忘れずにがんばりましょ

どりーまあ訪問看護

どりーまあ訪問看護では、認知症の方を含む高齢者ケアの他に、難病患者さんや小児疾患の子供たち、また在宅リハビリなどに力を入れて取り組んでいます。

看護師の現場での様子をご紹介いたします。

森浦さんの感動

森浦さんの所長である中野ですが、毎日ご利用者さんから教えていただきことばかりで、その時その時の瞬間を大事にしていきたいたじたじだそうです。そんな小松さんも、週1回の訪問看護サービスでは看護師さんにいろんな悩みを打ち明けられたり、相談にのつていただいたりして、いざと心がけているようです。

その心意気でこれからもがんばりましょう。

大串 亜紀

大串亜紀は、訪問看護師として活躍する大串です。が、「初めての経験ばかりで不安な毎日だったけど、ご利用者さんからの“ありがとうございます。”の言葉にいつも感動します。」との事です。

また、障害があつても、少しでも外に出かけられて楽しみを見つめられてほしいと感じています。

森浦さんの今のお気持ちは、「世間がせまなくなつた。」とのことですが、希望は「孫の成長」と「株」だそうです。

訪問看護師とおられますね！

河野 瑞枝ちゃん

瑞枝ちゃんは、みづきの生活が叶えられました。お母さんの代からは、「みづきは病院に入院している時は38度から39度の高熱がよく出でます」と目を細められます。ご本人からも「助かります」、担当もあり、「どりーまあ訪問看護ステーション」と目を細められます。

ぬくもり

ぬくもりは、息子ばかり4人の子育てをしてきた小松さんも、今年で95歳となりました。社会でそれぞれのお立場でご活躍されている息子さんたちも小松さんの前では今でも

関本 敦子

先天性疾患のあるみづきちゃんですが、生後9ヶ月で公的医療機関から退院し、念願のご自宅での生活が叶えられました。お母さんは、「みづきは病院に入院している時は38度から39度の高熱がよく出でます」と目を細められます。

河野 瑞枝ちゃん

瑞枝ちゃんは、みづきの生活が叶えられました。お母さんの代からは、「みづきは病院に入院している時は38度から39度の高熱がよく出でます」と目を細められます。



浴室



これから徳島での地域福祉はどうあるべきか、を考えていた3年前、滋賀県（大津市・余呉町）での空いた社会資源を活かした福祉整備の取り組みや、兵庫県稻美町での通所療養介護や施設などの実践を参考に、どりーく探索してきました。

フロンティア Frontier

本年度新社屋
移転にともなつて新たに「デイサービスセンター夢ハウス」をオープンする運びとなりました。紙面を通してセンター内の様子とスタッフをご紹介させていただきます。



静養室



リハビリ室



デイルーム

かわらせていてくださいて
きた方々やこれからか
かりをあるであろう方
たちのために「第2の
ふるさと」を創ること
にたどりつきました。
そうしたいきさつか
ら、この度「和」重ん
じたたずまいであつ
て、ご高齢者や障害を
おもちの人たちが、気
楽に安心して集える居
場所づくりに取り組

保ち続けていくための体操やリハビリをご提供いたします。また、何よりも家族と同じようなあなたたかいおもてなししができるサービスを心がけております。

(デイサービスセンター夢ハウス) 始動 かけがえのない「遊び」のために

み、「デイサービス
夢ハウス」が誕生いた
しました。

と言つてもらえるのが
言葉にならないくらい
うれしいです。これか
らも、この「夢ハウス」
の良さを出せるよう
に、利用者さんひとり
一人の願いを少しづつ

ケアスタッフ 安

安田真祐子

利用者さんに寄り添えるかかわり方は、どうり一まあでヘルパーとして経験してきたことが今生かされていいますし、ヘルパーでかかわらせていただいてきた方からも、「知っている人がいるから安心できる。」と言つてもらえたのがやりがいにつながっています。

スタッフの抱負

叶えて いける ように 積極的
に 勇敢に 今 は 自分自身
が 楽しく お仕事させ
て もらえて 感謝してま
す。

ご利用者さんか毎週
「夢ハウスに行きた
い。」と楽しみに思つ
てもらえるような場所
にしていきたいです。
そのためにもおひとり
お一人からのご要望を

ケアスタッフ

三

ご利用のお問い合わせも少しずついただけ
るようになりましたが、いつもおひとり
お一人の顔の見える
ケアができるので、ヘルパーの時とはま
た違ったやりがいを感じています。これ
からも、ここに来てくださる人たちがく
つろげるような空間をご提供していきた
いです。



屋落成式典&内覧見学会 誇れる「出会い」



式 典 4月4日(土) 10時~11時
内 覧 会 4月4日(土) 13時~16時
4月5日(日) 10時~16時

式典には行政や医療・
福祉関係の方々、また建
築に携われた方々、ど
りーままの顧問の先生方
など、32名のご出席をい
ただきました。

まず、民生委員のお立
場であり、現在数々の要
職に就かれておられる伊
勢悦子様からは、これま
での長いおつき合いの中

でお世話になってきたご
来賓32名をお迎えするこ
とができる、数々のご祝辞
やお祝いのお言葉、また
電報など頂戴いたしまし
た。また内覧見学会で
は、2日間にわたり、県
内外から多くの関係者の
方々にご来訪いただきま
した。紙面を通して心よ
り感謝申し上げます。

新社屋オープンを記念
に、落成式典と内覧見学
会を開催いたしました。
落成式典には、これま
でお世話になってきたご
来賓32名をお迎えするこ
とができる、数々のご祝辞
やお祝いのお言葉、また
電報など頂戴いたしまし
た。また内覧見学会で
は、2日間にわたり、県
内外から多くの関係者の
方々にご来訪いただきま
した。紙面を通して心よ
り感謝申し上げます。

【第2のふるさと】を目標に！



徳島県民生児童委員協議会
会長 伊勢悦子様よりご祝辞

【落成式典】

各界からの祝辞に
スタッフも奮起する

で、どりーままの育ての親
のお一人でもあります。ど
りーままのヨチヨチ歩きの
頃から大きく支えてきてく



式辞 山口理事長

次に県会議員の
お立場から長尾哲
見様からは、個人
としておつきあい
の中で、心の結び
つきの大切さやこ
れからの歩みのあ
り方に教えをいた
だきました。



徳島県会議員
長尾哲見様よりご祝辞



シーガル病院 理事長
鎌田啓三様よりご祝辞



た。
そうした方々のお言葉を
今後私たちは決して忘れる
ことなく、益々の努力を積
み重ねていけるよう頑張つ
ていくことを決意いたしま
した。

また、現在シ
ガル病院理事長と
してご活躍されて
いらっしゃる鎌田
啓三様は、徳島赤

十字社事務
局長時代か
らのおつき
あいで、N
P.O活動の
尊さにご評
価いただき、
これから
地域福祉への取り組みに共
に歩んでいこう、との力強
いご激励を頂戴いたしまし
ました。

十字社事務

局長時代か
らのおつき
あいで、N

P.O活動の

尊さにご評
価いただき、
これから

どりーまあサービス新社 「和」の空間



丸浦工業 丸浦世造社長様へ
感謝状の贈呈



さわやか福祉財団
木原勇様よりご祝辞

【全国からのエール】

この度の式典や内覧見学会には、東京のさわやか福祉財団から木原勇様や、兵庫県いなみ訪問看護ステーションで通所療養介護で看護責任者としてご活躍されてきた織田知美様（現大阪北ホームケアクリニック所属）、NPO法人たすけあい讃岐 松本林様

内覧会に県内外から 約150名の方々のご来訪



渭北地区民生委員の皆さんと
NPO法人たすけあい讃岐 松本林様

「現場の汗を語り合う」



衆議院議員 仙石由人先生と
これからのお福について語る



織田知美様（兵庫県）
(大阪北ホームケアクリニック看護師)

願いは共通!! 「豊かな社会」

竹が節目節目があること
で、しなやかな強さを合わ
せもち、どんな強風にも折
れずに生き続けられている
ように、私たちもこ
の度の節目を無駄に
することなく、社会
で役立つ活動が実現
でき、強く歩んでい
けるよう、様々な絏
験を積み重ねていか
ねばならないと感じ
ております。

のケアをご利用されていた
ご家族の方が立ち寄って下
さつたりと、本当にインフ
ラ整備の大切さと意義を感じさせていただきました。場面を経
験いたしました。



見学者同士で楽しい語らいのひととき

【未来の医療と福祉】

内覧見学会には多くの関係者の方々よりご来訪いただき、数々のお祝いのお言葉や激励を頂戴いたしました。

ご来訪時には、皆様それぞれにこれまで共に取り組んできた仲間同士との語り合いがあつたり、これからの方などについて真剣に話し合われたり、ところせましと談義が交わされ、2日間

「変えられる未来」と「かけがえのない仲間」

と一緒に楽しませていただきました。

また、ご両親の介護で悩んでいらっしゃる方などから相談にも来訪されたり、かつて“どりーまあ”

厚生労働省補助事業

この度、NPO法人どりーまあサービスが、「地域福祉の基盤整備への調査研究事業」をテーマに、厚生労働省社会援護局より交付金補助を受け、調査研究事業と認知症啓発事業の2本柱とした事業を、鳴門市の協力を得て実施いたしましたので、ご報告いたします。

アンケート調査

鳴門市に住む65歳以上の要介護（要支援）認定者800名を対象に無作為抽出法にてアンケート調査を行いました。調査内容は、老老介護及び認知症高齢者を介護する家族への意識調査と閉じこもりや孤独死防止のための地域コミュニティーアイアリ方、といった事でした。

また、同市民生児童委員146名の方々へも、同項目について意識調査をさせていただきました。

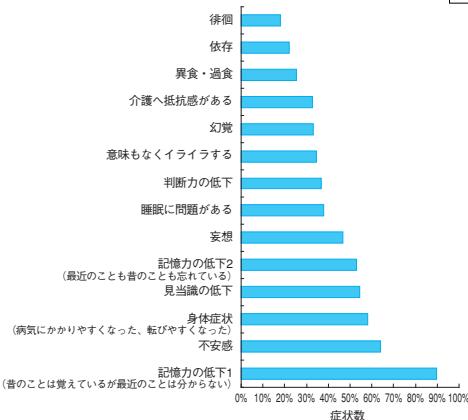
平成20年度社会福祉推進事業

調査名 鳴門市内における高齢者の実態把握

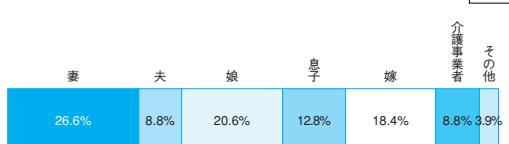
指導協力 德島大学総合科学部 矢部拓也先生、徳島文理大学心理学 島 治伸先生

主な調査結果

認知症の症状(n=242) 報告②

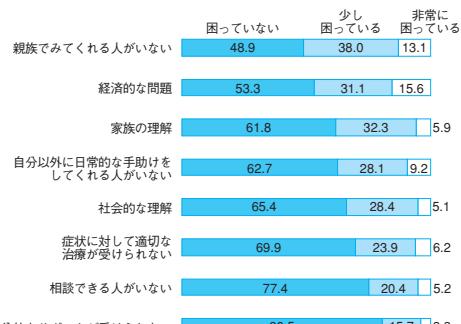


主にお世話をしている人(介護者)の続柄(n=533) 報告①

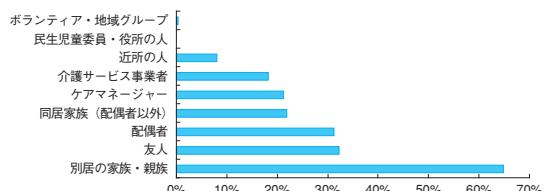


被介護者からみた介護者の続柄で最も多いのは妻の27%で、次いで娘の21%、嫁の18%、息子の13%、夫の9%であり、介護事業者も9%と、割合としては夫と同程度の割合であった。

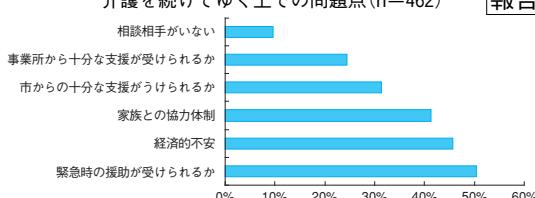
認知症があることで困っていること 報告③



この1ヶ月の間に、介護者の心配事や悩み事を聞いてくれた人(n=484) 報告⑤



介護を続けてゆく上での問題点(n=462) 報告⑥



介護を続けていく上での問題点において、全体の半数は「緊急時の援助が受けられるか」を上げていた。次いで「経済的不安」46%、「家族との協力体制」41.3%となっている。「市からの十分な支援が受けられるか」31%、「事業所からの十分な支援が受けられるか」25%、最も少なかったのが、「相談相手がない」の10%であった。

『認知症を考える県民の集い in 鳴門』

～平成20年3月1日(土) 於:鳴門市文化会館～

主催 NPO法人どりーまあサービス 共催 鳴門市



共催者あいさつ
鳴門市市長 吉田忠志様

た。
葉も賜
りまし
た。

鳴門市長様よりご挨拶を頂戴し、
本事業へのねぎらいのお言葉も賜
りました。

国庫補助

本補助事業の2つ目の柱である、認知症啓発事業『認知症を考える県民の集い in 鳴門』を、鳴門市文化会館で行いました。この集いに、認知症介護研究・研修東京センター主任研究主幹としてご活躍されている永田久美子先生と、若年性認知症の妻を介護する家族として、京都から芦田豊美様をお招きでき、約600人の参加者たちは魅了されていました。

認知症をテーマに市民・専門家ら約600人集う!!

生きる力

基調講演

永田久美子先生から
の基調講演では、まず
認知症についての基本
的概念に始まり、原因と症
状についての説明がありま

〈認知症と共に歩む地域社会〉

認知症研修東京センター
主任 永田久美子先生

した。そして、45歳で
認知症の診断を受けら
れた現在52

現場に原点あり

された。そこでは、「私はとても元気です。体力もあります。心はやる気でいっぱいです。(中略) 人に役に立つて喜ばれたいし、感謝された

歳男性の生の声を紹介されました。そこでは、「私はとても元気です。体力もあります。心はやる気でいっぱいです。(中略) 人に役に立つて喜ばれたいし、感謝された

シンポジウム



コーディネーター永田久美子先生と
シンポジストの皆さん

シンポジストとして地元鳴門市で認知症の方に對し、地域密着型サービスで取り組まれているそれぞれのお立場の3名の方より、認知症ケアへの取り組みの発表をいただきました。

また家族の立場として、芦田豊美として、芦田豊美様より意見発表があり、男性介護者として切実な現実の厳しさを教えられました。



発表される 芦田豊美様

「認知症にやさしい地域社会を目指して」

いです。

～中略～ 元気になりました。こんなになつたのがくやしいです。」という内容でした。



スタッフ全員で壇上へ

認知症ケアの本質に迫る!!

他の認知症ケアの現場で永田先生もと共に汗を流されています。永田先生も共に汗を流されたり、これからの私たちが取り組むべき視点や原点への気づきをたくさん教えていただけでした。

民間看護・介護事業所合同研修



平成21年2月17日(火)
在宅で人工呼吸器を使用して生活しておられるご利用者さんは、看護師の果たす役割は大きく、またチームケアへの理

人工呼吸器の基礎知識

出葉 淳氏
フジ・レスビロニクス

解など、様々なことが求められます。そのためにも、常に基礎研修を積み重ねて、呼吸アセスメントや機器類の評価等に關しても的確な判断を身につけていかねばなりません。今後もこうした研修の技術的にも人間的にも磨きをかけてまいりたいと思います。

**在宅ケアに活かすコーチング
～「質問」と「傾聴」～**
(20年6月13日(月) 於:ふれあい健康館)
講師 マスター ウェルネス コーチ
安倍 斗与先生

本セミナーでは、民間の看護・介護事業所に呼

そうした時、看護・介護職問わず、コミュニケーション技術のひとつであるコーチングを身につけることで、援助者自身の誇りともなり、心豊かなケアに近づける第一歩です。

人財

合同
研修会



びかけて、約50名の参加者で実践的な研修ができます。

今、医療・福祉の現場で求められていることは、疾病に対する高い技術や専門的知識だけではなく、その人自身の生き方を受け入れる対応も必要でしょう。

21年度 どりーまあ研修プログラム

		看 護	介 護 ・ デ イ	居 宅	事 務
21年	4月	職業倫理～プライバシー保護と法令遵守～ 医療セミナー～内科疾患～	職業倫理～プライバシー保護と法令遵守～ 自宅でできる予防体操	職業倫理～プライバシー保護と法令遵守～ ～モニタリングとアセスメント～4月20日	
	5月	呼吸器セミナー～呼吸アセスメント～	介護計画と記録の方法～マンネリ化を退治する記録～	マネジメント技術研修～担当者会議の方法～	接遇マナー～電話の応対と業務連絡～
	6月	ターミナルケア～看取りと緩和ケア～	ターミナルケア～看取りと緩和ケア～	ターミナルケア～看取りと緩和ケア～	事務局員としての心得～求められること・求めるここと～
	7月	緊急時対応方法～緊急時のポイント～	緊急時対応方法～緊急時のポイント～	緊急時対応方法～緊急時のポイント～	パソコンセミナー～エクセル技術～
	8月	合同研修《認知症研修》～認知症の原因と適切なケア～	合同研修《認知症研修》～認知症の原因と適切なケア～	合同研修《認知症研修》～認知症の原因と適切なケア～	パソコンセミナー
	9月	(居宅との合同)～入院時のアセスメント～	コミュニケーション技術～プロの介護職としての援助技術～	(看護との合同)～入院時のアセスメント～	～パワーポイント基礎知識～
	10月	安全管理と対応マニュアル～事故事例とヒヤリハット事例～	安全管理と対応マニュアル～事故事例とヒヤリハット事例～	安全管理と対応マニュアル～事故事例とヒヤリハット事例～	パソコンセミナー～ワードのうら技～
	11月	合同研修《感染症対策》～感染と衛生管理方法～	合同研修《感染症対策》～感染と衛生管理方法～	合同研修《感染症対策》～感染と衛生管理方法～	
	12月	小児看護論	医療セミナー～お薬の正しい知識～	事例検討会～閉じこもり・虐待のマネジメント～	
	22年	呼吸器セミナー～検査データの分析～	口腔ケアの基礎知識～介護職が行う口腔ケアの役割～	障害者への対応～接近困難事例から～	会議の進め方～準備と調整～
	1月	リハビリ技術の習得～運動療法の実践～	リスクマネジメント～クレーマー対策～	記録の取り方①～モニタリングと支援経過～	
	2月	制度論～医療法改正への対策～	障害と受容～心理的アプローチ～	記録の取り方②～事業所・主治医との連携～	

活動報告

内部会議

平成20年

- 8/21 看護情報公表ミーティング
- 8/26 介護情報公表ミーティング
- 8/28 居宅情報公表ミーティング
- 9/25 介護連携会議
- 10/1 徳島大学看護学科実習生打ち合わせ会（於：どりーまぁ事務所）
- 10/6 居宅情報公表ミーティング
- 10/15 阿波銀行融資最終打ち合わせ
- 10/21 居宅情報公表反省会
- 10/29 地域連携検討会議（於：どりーまぁ事務所）
- 10/30 どりーまぁ経営会議（於：どりーまぁ事務所）
- 10/31 人材育成指導（於：森本社労士事務所）
- 11/11 元気高齢者づくり事業指導員ミーティング（於：どりーまぁ事務所）
- 10/10 看護情報公表ミーティング
- 12/24 元気高齢者づくり事業スタッフミーティング
- 12/25 どりーまぁ経営会議

平成21年

- 1/7 ディサービス設立準備委員会
- 2/6 認知症ケア研修準備委員会
- 2/7 ディサービス設立準備委員会
- 3/6 ディサービス設立準備委員会
- 3/24 新社屋落成式典準備会議（於：どりーまぁ事務所）
- 3/29 どりーまぁ職員集会
- 4/22 ホームページ委員会
- 4/25 職員研修会「職業倫理と倫理綱領」（於：どりーまぁ事務所）

内部研修

平成20年

- 8/2 職員研修会「救命救急法の実践」
講師：徳島市東消防署指導係3名（於：どりーまぁ事務所）
- 8/8 看護ミニ研修「職業倫理及び倫理綱領について」
- 8/9 職員研修会「呼吸器セミナー①」講師：武田病院 團院長（於：ふれあい健康館）
- 8/22 看護ミニ研修「プライバシー保護について」
- 8/29 看護ミニ研修「事故防止・再発防止について」
- 9/20 職員研修会「呼吸器セミナー②」講師：園先生（於：ふれあい健康館）
- 10/22 訪問看護実習説明（徳島大学治験センター担当者指導）
- 11/26 訪問看護リハビリ研修会（於：旭木工会館ショールーム）
- 12/6 職員研修会（ビデオ研修）「ふたりの時を心に刻む」（於：ふれあい健康館）

平成21年

- 2/10 職員研修会「これから地域福祉サービスを考える」（於：どりーまぁ事務所）

外部会議

平成20年

- 8/18 ALS患者2名ケースカンファレンス（於：徳島大学病院）
- 8/26 ALS患者サービス担当者会議（於：徳島保健所）
- 10/2 ALS患者2名ケースカンファレンス（於：徳島大学病院）
- 12/18 退院前カンファレンス（於：徳島大学病院）
- 12/2 徳島市地域包括支援センター運営会議（於：徳島市医師会館）

平成21年

- 1/28 認知症ケア研修打ち合わせ（於：鳴門市役所）
- 1/29 第4期徳島市高齢者保健福祉計画策定委員会（於：千秋閣 山口参加）
- 1/22 利用者ケースカンファレンス（利用者自宅）
- 2/1 地域福祉セミナー「最期まで地域で生きる」（於：徳島県教育会館 山口参加）
- 2/12 認知症ケア研修打ち合わせ（於：鳴門市役所）
- 3/4 徳島大学保健学科看護実習説明会（於：同大学内）
- 3/19 徳島市包括支援センター運営協議会（於：徳島市医師会館）

外部研修

平成20年

- 8/1 勝利セミナー（於：県郷土文化会館、森・石原・濱口参加）
- 8/22 介護事業所経営戦略セミナー（於：全国町村会館）
- 10/10 医療セミナー「リンパ浮腫と看護」（於：徳島赤十字病院）
- 10/17 医療セミナー「乳がん治療と看護実践」（於：徳島赤十字病院）
- 10/19 ALS協会アンビュー講習会（於：県立障害者プラザ 介護2名参加）
- 10/25~26 通所介護事業経営セミナー（於：日本医師会館）
- 11/13 在宅難病患者支援ネットワーク会議（於：徳島保健所 藤代・脇川出席）
- 11/28 在宅医療連携研修会（於：徳島市医師会館 山口・脇川参加）
- 12/3 徳島大学保健学科地域医療学習会（於：山口・大串・関本参加）

平成21年

- 1/13 全国訪問看護事業協会研修会「難病・ハイテクケア」（於：損保会館 大串参加）

2/14 县訪問看護ステーション連携協議会東部プロックセミナー「コミュニケーション支援機器の基礎知識」（於：県看護会館）

2/15 がん連携セミナー（於：グランパレス徳島 山口参加）

2/20 在宅医療連携学習会（於：徳島市医師会館 山口参加）

2/24 介護保険認定調査講習会（於：吉野川市）

対外活動

平成20年

- 8/4 ケアマネ協会業務委員会（於：論田病院）
- 8/8 ケアマネ協会理事会（於：県立総合福祉センター）
- 8/16 ケアマネ協会西部オープン相談会（於：蓬莱莊）
- 8/28 県社会福祉士会理事会（於：社会福祉士会事務局）
- 8/29 医療地域連携協議会うの会世話人会（於：県立中央病院）
- 9/6 ケアマネ協会運営委員会会議（於：県立総合福祉センター）
- 9/10 ハローワーク徳島主催「ミニ就職説明会」（於：ハローワーク徳島）
- 9/11 高次脳機能障害家族の会参加（於：徳島大学病院内長井記念ホール）
- 9/12 民間ヘルバーステーション合同研修会
- 認知症ケア研修講師：大塚智子先生（於：県立総合福祉センター）
- 9/18 グループホーム評価調査委員会研修会（於：県立郷土文化会館）
- 9/20 ケアマネ初任者研修会（ケアマネ協会主催）（於：アスティ徳島）
- 9/21 医療地域連携協議会うの会定例会（於：鴨島病院）
- 9/22 徳島緩和ケア研究会定例会（於：徳島大学病院）
- 9/24 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター）
- 9/26 訪問看護連携協議会研修会「在宅療養と訪問看護」（アスティス主催）

10/4 がん市民講座（於：県立中央病院）

10/5 ホップス定例会（於：徳島市福祉センター）

10/7 徳島緩和ケア研究会会誌編集委員会（於：徳島大学病院）

10/9 中・四国介護福祉士研究会シンポジウム打ち合わせ（於：どりーまぁ事務所）

10/14 四国老人福祉学会実行委員会（於：博愛記念病院）

10/31 ケアマネ協会運営委員会会議（於：県総合福祉センター）

訪問看護連絡協議会東部地区研修会打ち合わせ

（内容：コミュニケーション支援について、於：文理大学島研究室）

11/5 グループホーム調査員連絡会議（於：県郷土文化会館）

11/8~9

四国老人福祉学会参加（於：博愛記念病院）

11/10 徳島市第4期高齢者保健福祉計画策定委員会（於：徳島市役所）

11/14 四国介護福祉士研究大会（於：徳島グランヴィリオン シンポジスト参加）

11/15 高次脳機能障害家族会参加（於：県立障害者プラザ）

11/15 脳卒中シームレスケア講習会（於：徳島大学病院長井記念ホール）

県民公開講座（於：ホテルクレメント）

11/21 福祉医療機構助成金審査委員会（於：センチュリープラザホテル）

徳島緩和ケア研究会定例会（於：徳島大学病院）

医療地域連携協議会うの会世話人会

12/6 医療地域連携協議会うの会世話人会（於：県立中央病院 山口参加）

12/13 県社会福祉士会理事会

12/25 県介護労働安定センター就職説明会（於：介護労働安定センター内）

平成21年

1/16 ホップス定例会

1/14 渥北地区民生児童委員会新年会（山口参加）

1/15 県社会福祉士会理事会

1/16 県ケアマネ協会理事会

1/19 徳島緩和ケア研究会定例会

1/23 沖洲地区民生児童委員会定例会参加

1/25 高次脳機能障害徳島家族会（於：障害者プラザ 山口参加）

2/29 徳島ケアマネ協会理事会

2/10 徳島緩和ケア研究会会誌編集委員会（於：徳島大学病院緩和相談室 山口参加）

2/19 ケアマネ協会運営委員会（於：県立総合福祉センター 山口参加）

2/26 ケアマネ協会理事会

3/2 鳴門市老人クラブ連合会定例会参加

3/3 鳴門市民生児童委員会定例会参加

3/7 ケアマネ協会オープン相談会（於：白寿会 山口参加）

3/17 総合ケア研究会世話人会

平成20年

1/28 難病ヘルパー養成講座講義（於：徳島労働福祉協議会）

10/1 介護労働安定センター主催介護基礎研修講義（於：ふれあい健康館）

10/8 介護基礎研修講義（於：ふれあい健康館）

平成21年

1/28 全身性ガイドホームヘルパー（於：介護労働安定センター 山口参加）

2/12 難病ホームヘルパー（於：介護労働安定センター 山口参加）

厚生労働省社会福祉推進補助事業（以下国庫補助事業）

平成20年

9/4 国庫補助事業調査協力に関する検討会議（於：鳴門市役所）

9/11 調査アンケート内容の打ち合わせ会（島先生、矢部先生出席）

9/26 策定委員会議（於：千秋閣）

10/23 調査アンケート項目検討ミーティング（於：鳴門市役所）

10/30 策定委員会議（於：千秋閣）

11/4 鳴門市市民児童委員会長会出席

（国庫補助事業に関するアンケート協力依頼、於：鳴門市役所）

11/13 民生児童委員へのアンケート作成仕上げ作業

11/15 民生児童委員に対するアンケート発送

12/12 国庫補助事業策定委員会

平成21年

2/12 国庫補助策定委員会（於：千秋閣）

3/1 「認知症を考える県民の集いin鳴門」（於：鳴門市文化会館）

3/23 国庫補助策定委員会（於：どりーまぁ事務所）

3/30 国庫補助報告書打ち合わせ会議

社屋建築関係

平成20年

9/9 新社屋移転計画報告会（於：佐乃庄）

9/10 事業プラン説明会（於：どりーまぁ事務所）

10/1 新社屋建築地鎮祭

10/22 建築現場近隣あいさつ廻り（丸浦工業担当者協力）

11/17 新社屋上棟式

情報の公表調査

10/15 情報公表調査（看護・介護・居宅）

その他

平成20年

12/1 理事会

平成21年

4/10 内町地区民生児童委員会社屋見学会及び定例会

その他の事業所内定例会議

1. 介護 ○定期ヘルパーミーティング（毎週金曜日）

○ミニ研修会（毎週金曜日）

○サブリーダーミーティング（毎月第3土曜日）

2. 看護 ○看護ミーティング（毎週水曜日）

○看護運営会議（毎月第4木曜日）

○看護研修会（毎月1回）

○ケアマネミーティング（毎週月曜日）

3. 居宅 ○事務ミーティング（毎月1回）

4. 事務 ○指導員ミーティング（毎月1回）

5. 体操 ○運営ミーティング（毎月1回）

6. 全体 ○職員研修会

○会計ミーティング（毎月1回）

○どりーまぁ経営会議（隔月：偶数月第4木曜日）